

**日本語教師育成強化特別事業開始記念セミナー兼事業説明会**  
**(2018.10.24)**  
**挨拶及び説明**

皆様、本日はお忙しいところ、お集りくださいませ、誠にありがとうございます。

国際交流基金は、日本と海外の国際相互理解の増進に努め、文化芸術交流の活性化、日本語教育の支援、日本研究・知的交流の促進という、主に 3 つの分野での活動を行っている公的な団体です。「文化」と「言語」と「対話」に関する活動を通じて、日本と世界との絆をはぐくむことを目標としています。

本日は、その 3 つの活動分野のうちの、ベトナムでの日本語教育における新しいできごと(ニュース)について皆様に知っていただきたいと思い、在ベトナム日本国大使館とともに、この会を開かせていただきました。

それは、「日本語教師育成強化特別事業」、つまり、ベトナムの日本語教師、先生の育成を強化していく特別事業を、日越外交関係樹立 45 周年である本年、2018 年より始め、教師研修を一層充実させていくというお知らせです。現在のベトナムにおける日本語教育をさらに発展させていくために最も重要な要素であると考えています。

まず、この「日本語教師育成強化特別事業」を実施するに至った背景と目的をお話したいと思います。

この事業は、2017 年 6 月の国際交流会議「日経アジアの未来」の晩餐会における安倍総理のスピーチで述べられた、「アジアの各地で 3 か所くらい」「日本語の先生を育てる場所」を設けるとの趣旨に沿って、ベトナムで実施されることになった事業です。

国際交流基金が 2015 年に行った調査では、世界の 137 の国・地域で日本語教育が行われており、日本語教育を行う学校等は 16,179 機関ありました。そこで日本語を学ぶ学習者は約 365 万人という結果でした。ベトナムについては、219 の機関に、64,863 人の学習者がいるという結果が出ていました。現在は、さらに多くの機関で日本語教育が行われ、学習者もさらに増えていると思います。

また、学習者の日本語能力を測定し、認定する試験の一つとして、国際交流基金は日本語能力試験(JLPT)を世界で実施していますが、ここベトナムにおける受験者は、2017 年において、71,242 人となっており、世界 3 番目、東南アジアで 1 番の人数が受験する国となっています。

このようにベトナムはすでに、日本語学習者、日本語能力試験受験者という日本語学習に関する「数」の面からは、世界的に見ても「大国」と言える状況になっています。

「数」の面で拡大しているベトナムの日本語教育ですが、ここにお集まりのベトナムの先生方もご承知のように、「数」が拡大しているからこそその問題も抱えるようになってきていることも事実です。

日本語教育を実施したいという地域、学校はまだ数多くあるのですが、その希望どおりには広がっていかないという課題があります。

同時に、学習者の数の増加とともに、日本語学習の目的・動機がたいへん多様化していますので、日本語学習者がそれぞれの目標を実現するための「質」の高い教育が行われることが、ますます大切になってきました。

こうした問題に対応していくための「鍵」が日本語教師の育成、特に、しっかりした教育を実践できる教師の育成であり、その課題に対応する事業として「日本語教師育成強化特別事業」を開始することになりました。

その目的は2つあります。

第1の目的は、一定の日本語力を有する人材の中から日本語教師になる者を育て、増やしていくことです。新しい学校、これから日本語教育を始めたいという地域で、教師になる人材が1人でも多く巣立ってってもらえるようにしたいと思います。ベトナムの日本語教育における、教師の「数」の不足に少しでも対応していきたいということです。

第2の目的は、既に日本語教師になっている人材の日本語教師としての能力を強化していくことです。ベトナムの日本語教育が急速に拡大してきたために、現在、日本語教師の職に就いている先生方の中には、日本語は堪能ですが、日本語教育、つまり、日本語を学習したい人に教えるということについて、専門的に勉強する機会がなかった人たちも多くいます。あらためて日本語教授法等を学んでもらい、各機関での教育活動を充実させてほしいと思います。こちらは、ベトナムの日本語教育の「質」を上げていきたいということです。

ここからは、具体的に展開する講座について、少し説明させていただきます。

今、申し上げた目的の達成に向けて、「新規日本語教師育成講座」と「現職日本語教師向け能力強化講座」の2つを中心に実施していきます。

「新規日本語教師育成講座」は、2018 年度については、12 月から週末を利用して、講義 120 時間、実習 80 時間の計 200 時間を 4 か月半程度の期間実施したいと思います。日本語教師に興味、関心を持つ大学生、短期大学生、日本語学校の生徒やその卒業生を主たる対象にして、日本語を教えることについての基本的な考え方や日本語教育の基礎的な知識から、教材分析、学習評価、ICT（情報コミュニケーション技術）の活用まで、日本語教師として「質」を伴った教育を提供できる幅広い力を身に付けていただくコースとなります。

一定の期間、学習を継続していく必要がありますので、「新規日本語教師育成講座」は必要な経費の一部を受講者に負担いただく形で行わせていただきます。この講座は、まずは、ハノイの国際交流基金ベトナム日本文化交流センターの教室で実施します。

次年度以降、実施時期を学生等が広い地域から参加しやすい夏期休暇時期にし、平日を利用したより集中的なコースにすること、時間数も増やすこと、初等・中等教員の資格取得にも対応できるようにすること等を検討していきたいと思えます。

もう一つの、「現職日本語教師向け能力強化講座」は、ベトナム各地で、週末の 1 日半または 2 日間を使って、決まったテーマによる講座、勉強会として実施していきます。各地の日本語教育の状況、その地域の教師の関心事項に合わせた内容で実施したいと思えます。こちらのコースは、当面、無料での実施を考えています。

すでに、「現職日本語教師向け能力強化講座」の第 1 回は、ハイフォンで 10 月 20 日（土）、21 日（日）の 1 日半、『初級レベルにおけるコミュニケーション能力向上のための教授法』というテーマで実施いたしました。ベトナム日本文化交流センターの日本語専門家やスタッフが事前に出張し、ハイフォンの日本語教育機関の先生方の意見をお聞きし、このテーマでの実施となりました。大学、民間日本語学校、技能実習生送り出し機関等の先生方に集まっていたいただき、活気あふれる講座が実施できたと思えます。

また、第 2 回を 11 月 10 日（土）、11 日（日）にハノイで『中級授業の教授法』というテーマで実施することにしています。こちらは、ハノイには多くの日本語学校がありますが、多くは初級レベルまでのコースの学校が多いこと、実際

に中上級レベルの学習者に対し、自信をもって教えることのできる教師がまだ少ないこと等を考慮して、このテーマでの開催となりました。

こうした「現職日本語教師向け能力強化講座」は、2018年度中、つまり2019年3月までに、全部で7、8回、様々な地域で実施していきたいと考えています。

なお、「日本語教師育成強化特別事業」については、「新規日本語教師育成講座」と「現職日本語教師向け能力強化講座」のいずれについても、その企画、実施、そして評価について、ベトナムの日本語教育関係機関、関係者と共同、協力して実施していきたいと考えています。

当面、実施が予定されている第2回「現職日本語教師向け能力強化講座」までは、国際交流基金ベトナム日本文化交流センターの日本語専門家、ベトナム人講師、スタッフが中心となって実施していきませんが、12月開講の「新規日本語教師育成講座」や今後の現職日本語教師向け能力強化講座については、今、お話ししたように、ベトナムの日本語教育関係機関、関係者にも参画していただく形で、実施できるように調整中です。

実際に、本日この場に、ハノイ国家大学外国語大学の Do Tuan Minh 学長、ハノイ大学の Nguyen Van Trao 学長にお越しいただいておりますが、ハノイ国家大学外国語大学の日本語日本文化学部、ハノイ大学の日本語学部、そしてその学部の先生方と共同、協力して「日本語教師育成強化特別事業」を進めていけるよう具体的な相談をさせていただいております。両大学からは、既に、この事業の準備の段階から助言、協力をいただき、たいへん感謝しております。

今後、さらに協力関係を強化し、今、ご説明いたしました「日本語教師育成強化特別事業」が、日本語教育に実績のあるこれらの大学のご協力を得て、ベトナム社会において、評価され、信頼されるものとなるようにしていきたいと考えております。

それによって、「新規日本語教師育成講座」と「現職日本語教師向け能力強化講座」のいずれの修了生についても、ベトナムの日本語教育の世界、語学教育の世界で評価され、信頼される人材として、活躍の場が広がり、社会的な高い評価、よりよい待遇を得られることを期待しております。

他方、その分、それぞれの講座の修了認定については、厳しく考えていくつもりです。

両大学をはじめとするベトナムの日本語機関、そして、日本語教育機関を管轄するベトナム教育訓練省、その他の政府機関のご理解とご支援をお願いしたいと存じます。

そして、何よりもベトナム全土に広がる、日本語教師という重要な専門職に関心をお持ちの方々、既に教師としてのキャリアを持ち、さらに自身を高めたいと希望される方々に、「新規日本語教師育成講座」、「現職日本語教師向け能力強化講座」を受講していただきたいと思います。

国際交流基金ベトナム日本文化交流センターでは、これまでも日本語教師の研修や勉強会をベトナム国内で数多く実施してまいりました。また、日本での訪日研修の機会をベトナムの日本語教師の皆様にするようにしてまいりました。他方、これまでの重点は、初等・中等教育の先生方にあったことも事実です。これからは、従来の高校、中学校、そして小学校の日本語の先生方に対する研修とともに、この「日本語教師育成強化特別事業」によって、より幅広く、大学、短期大学、民間日本語学校、技能実習生の送り出し機関等の先生方に対して研鑽機会を作ることができるようになります。

日越外交関係樹立 45 周年の本年を機に、皆さんとともに、ベトナムの日本語教育の将来、その発展と充実に向けた新しい一歩を踏み出していきたいと思えます。

ありがとうございました。

2018 年 10 月 24 日

国際交流基金  
ベトナム日本文化交流センター  
所長 安藤敏毅